

令和4年11月24日

2022年度に実施した「健康とくらしの調査」に回答した皆様

神戸市福祉局介護保険課

**With/After コロナ時代の ICT を活用した新たな介護予防モデル
(オンライン「通いの場」) の実施可能性及び介護予防効果の評価等に関する研究** について

神戸市は、千葉大学予防医学センターが行う下記の研究に協力するため、介護保険事業計画策定のために一般高齢者(要介護認定を受けていない65歳以上)の方に実施しました、健康状態・身体機能状況等の調査に関する既存情報を、特定の個人が識別できないように加工した後、同大学へ提供します。本研究は、介護予防事業をより充実し、効果的に展開するためのものです。何卒ご理解いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

1. 研究課題

With/After コロナ時代の ICT を活用した新たな介護予防モデル(オンライン「通いの場」)の実施可能性及び介護予防効果の評価等に関する研究

2. 研究目的

本研究の目的は、介護予防に資する住民運営の通いの場活動を、オンラインで実施し、参加することの介護予防効果を明らかにするとともに、オンラインでの活動の実施可能性、継続可能性を検討することです。

3. 研究対象

2022年度に要介護認定を受けていない65歳以上の方に実施した「健康とくらしの調査」に回答した方のうち、2022年度に神戸市で実施した「オンラインつどいの場」に参加していない方(約150人)を対象とします。

4. 研究方法

「オンラインつどいの場」に参加した方と参加していない方の健康状態や暮らし方などを比較するために2022年度に「健康とくらしの調査」に回答した方のデータを活用し、本研究の介護予防効果等を分析します。約1年後に1回、健康とくらしの調査回答者のうち、本研究対象者に選出された約150の方に追跡調査をお願いします。

5. 個人情報の保護

氏名等の個人を直接特定できる情報は、分析用データには含めず、厳重に管理します。また、研究結果は対象集団の統計データとして報告されるため、研究成果を学会又は学術雑誌で発表する場合も、個人情報が公開されることはありません。

6. 研究に用いる情報の種類

神戸市における以下の介護保険事業に関する既存情報を使用します。

- ① 2022年度の「健康とくらしの調査」の回答
- ② ①の回答者の「要介護認定データ」「介護保険料賦課データ」「介護保険給付実績データ」「健康診査データ」「死亡小票データ」
- ③ 2023年度に実施予定の追跡調査の回答

7. 予定研究期間

令和4年11月24日から令和7年8月31日

8. 研究組織

研究代表機関

千葉大学予防医学センター 教授 近藤克則（研究責任者）

情報提供機関

神戸市

機関の長 神戸市長 久元 喜造

責任者 福祉局介護予防担当課長 菅 澄子

9. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。また、情報が本研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象から除外することができます。その場合でも市保健事業等実施に際し申し出者に対する不利益が生じることはありません。（ただし、分析による統計データがすでに公表されている場合等、除外に応じられないことがあります。）

連絡先

（研究に関するお問い合わせ先）

氏名 井手一茂

所属 千葉大学予防医学センター/JAGES 千葉事務局

役職 特任助教

住所 千葉県千葉市稲毛区弥生町1-3-3 千葉大学工学系総合研究棟 I 104号室

電話 043-290-3177

E-mail : ide.k@chiba-u.jp

(本研究の情報提供に関するお問い合わせ先)

神戸市福祉局介護保険課介護予防推進担当

住所 : 神戸市中央区加納町 6-5-1 神戸市役所 1号館 4階

電話 : 078-322-6325